

萌

MOE

第11号

平成16年7月6日(火)

発行 宮崎中学校区地域教育会議

議長 持田 正美

編集 広報委員会

今年度の活動に向けて

宮崎中学校区地域教育会議も本年で7年目を迎えることとなりました。本会議の趣旨をご理解いただき、ご協力いただいておりますことを心より感謝いたします。本年も「大人が変われば、子どもも変わる」運動を柱に活動を進めてまいりますので、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

子どもたちの未来のためにも、私たち大人が自分自身を、また社会を見つめ直さなければならないのではないのでしょうか。「命の大切さ」「良心」「思いやり」「人とのふれあい」そういうものを大切にできる心を持った子どもたちが、育ってゆく地域をめざして今後も活動してまいります。

(宮崎中学校区地域教育会議・議長 持田 正美)

★ ★ ★ 宮崎中学校区地域教育会議は、こんな活動をしています。 ★ ★ ★

定例会

総会

総会は年に1回、定例会は年に5回開催します。運営委員会は総会と定例会前に開催します。各委員会は、年間活動計画をもとに、随時開催します。

運営委員会

広報委員会

教育会議の理解を深めるため広報紙「萌 MOE」を発行。

生涯教育委員会

テーマに沿った講師をまねき、講演会を開催。地域の大人たちの学び場を提供。

地域教育委員会

子ども座談会を開き、子どもと大人の交流をはかる。

事務局

諸活動が円滑に行われるための事務活動を行う。総会開催のための資料作成などの準備を行う。

命の大切さ

広報委員会では、宮崎中学校区地域教育会議のさまざまな活動報告や学区内の各学校や地域のインフォメーションなどを広報紙「萌」に掲載してきました。

今年度は広報委員会としても《大人が変われば子どもも変わる》の大きなテーマに則って、【**命の大切さ**】について考えていきたいと思います。

昨今のさまざまな事件が起きるたびに、「何故こんなことが起きるの…？」と誰もが思っても、めまぐるしい日々の中で、また繰り返されていくことが現状です。地域教育会議という組織として、何に取り組んでいけばいいのかを含め、意見交換をしながら考えていきたいと思います。

生命

とは【 生物の活動を支える、根源の力。いのち。】 と辞書にあります。

生命がなくなったとき、その対照に **死** があることは子どもにもわかることです。



「どうしてアリさんは可愛がるのに、蚊は叩くの？」という子どもの疑問は、子どもが初めて感じる、素朴な生と死に関係する疑問ではないでしょうか。

「虫の中には害となる虫がいること。」を伝えるなど、子どもの質問には大人も真摯に答えてあげなければいけないと思います。また、ペットとして虫や動物を飼うときも、飼い方や餌についてきちんと話し合うことが、生命に関わる第一歩となるのかもしれない。



お母さんの体験談 を話してあげたい。

自分の子どもの頃と現在の生活では、社会生活も地域環境もかなり違いますが、話すことで、今は何をどうしたらよいのかを大人も再考する機会となり、子どもには知らないことを教えてあげることもできるのではないのでしょうか？

酪農家に生まれ、大家族と自然の中で育ったお母さんのお話は、牛乳や卵は毎日できたての物で、それが当たり前だと思っていたこと。子牛の出産のときには、夜中でも家族で協力し、お母さんが母牛をねぎらっていた姿。など今でも心にしっかりと刻まれている、という体験談でした。

大人の私たちにも家族で協力することの大切さや生命の誕生が感動的なこと、家畜と共に暮らすことによる恩恵や苦勞を思いおこさせてくれる内容でした。

こんな貴重な体験はうらやましいですね。誰でも積み重ねた経験の中で、何か子どもに語ってあげられることを一度ゆっくり考えてみませんか？

「補導された子は、ごく普通の子でした。」「最近言葉づかいが荒く、イラついているようだった。」など、事件の起きるたびに聞かれる台詞です。〈普通の子〉とはどういう子のことをいうのかと、いつも考えさせられます。「ムカつく」「うるせー」などはわが子もしょっちゅう使っているし、思春期の子どもが、部活や勉強で時間的に追われ、悩み多き青春時代をジタバタしながらイラついているのも事実です。

そして、マスメディアの影響でそれが低年齢化していることも、おそらく事実なのでしょう。しかし、その年代の子たちが全員「キレる」のか、ということそれは事実ではないと思います。一番身近にいる親が「うちの子に限って」という台詞をよく使い、学校や地域の人々が「普通の子でした」と言う現実を考えると、大人と子ども、親と子の人間としての繋がりが、子どもが対人関係を形成するときに影響をあたえているのかもしれない。

『生命』という何物にも変えがたい大切なテーマからは、さまざまな意見による広がりを見込めます。

広報委員会のメンバーは20代から70代。男性はコラムを執筆している及川さんのみですが、幼稚園児・小学生のお母さんをはじめ、子育てを終えたお母さんまでさまざまな立場のメンバーで構成されています。昨年の「あったかまつり」では、全員参加で協力しました。PTAのメンバーは入れ替わりましたが、継続したメンバーも含め、今年も活発に活動を進めていきたいと思っています。

昨年度の反省会で、及川さんから「どうも命の大切さということが、軽くみられている気がするのだけれども、広報として取り組むことはできないかな？」という意見が提案されました。今年度の広報委員会のメンバーが決まろうとする春以降、皆さんもご承知の通り、さまざまな事件が立てつづけて起きました。新メンバーにこのテーマを諮ったところ、今年は広報委員会として『生命の大切さ』について取り組もう、ということになりました。

年3回発行の広報紙「萌」の中で、どれだけのことのできるのか未知数ですが、今回は委員会で意見交換をした内容を掲載させていただきました。今年度は他の委員会でもそれぞれの活動の中で、このテーマに取り組むことになりましたので、その報告も含め、『生命の大切さ』について掲載していきたいと思っています。

少年の非行防止は家庭・学校・地域の連携で

新聞・ニュース等を見ると、多くの事件・事故が発生していることが分かります。最近、宮前区内の補導件数が増えているのを御存知ですか？

隣の高津区に比べ、宮前区内には繁華街とよばれる場所が、かなり少ないにも関わらず、深夜の徘徊（23:00～4:00の18歳未満の徘徊は補導されます）で補導される、中学生・高校生が多いのです。「ちょっとコンビニに行ってくる」と言って出掛け、お店やその途中で犯罪に巻き込まれ、被害者や加害者になってしまうこともあります。

又、タバコによる補導も多く、青少年の喫煙は身体に害を与えるだけでなく、シンナーや薬物に進み、犯罪に巻き込まれやすいといわれます。

これら青少年の問題は、警察にばかり任せるのではなく、家庭・学校・地域が一つになって、他人の子も我が子と同じ気持ちで、見守っていかねばならないと思います。

（徘徊→ぶらつく、うろつくこと）

ポスター・標語 大募集

「大人が変われば 子どもも変わる運動」の取り組みとして、今年もポスターや標語を募集します。今回のテーマは「大切なもの」です。自分にとって大切なもの、人、思い出など「大切なもの」に関するイメージをポスターや標語にさせていただけたらと思います。多くの人からのご参加をお待ちしております。

★ ★ ★ 募集要項 ★ ★ ★

- 募集対象 小学生・中学生・住民の皆さん
- 締め切り 9月10日(金)
- テーマ 「大切なもの」
- 募集内容 「ポスターの部」 画用紙4つ・8つ切り
「標語」
- 応募先 各学校または事務局(宮崎中学校 宮前区
宮崎107 電話866-3372 渡辺克己
教諭宛)まで持参か郵送にてお願いします

*** Petit Column ***

命の尊さを、何時、どこで、誰が教えるのか！

今、どこの家でもペットとして犬や猫を飼っている。なかには猫を数匹も飼っているおうち。車に家族同様な扱いで乗せて運転をして大変満足そうな人を見かける。また家の中に大型水槽を置き美しい金魚などを飼っているおうちも見かける。購入、飼育には多くの出費があっても、いろいろな動物を、家族同様に大切に育てているお宅が多くなった。これが今の日本社会の姿ともいえる。見方によって日本家庭のゆとりの一面であろうと思う。動物への愛情表現の場でもあり、ペットを通して家庭内の愛情の造成場としての日々を追してるのでしょう。大変素晴らしい事です。ところが先日の大事件。佐世保市内の公立小学校の六年生女子児童が、同じクラス的女子児童をカッターナイフで切りつけ、大切な生命を奪う大事件が発生しました。この世の中でたった一つしかない貴重な人間の生命を、ささいな口論がもとで人命を奪うとは。理由はどうあれ言語道断の行為であろう。ペットブームの日本の家庭で、小学生女児が級友の生命を奪うとは、戦前、戦中、戦後を生きぬき人命の尊さを知らされてきたわれわれには、とても考えられないできごとです。今の日本社会は荒廃している。私ははっきり言います。今の日本の社会、家庭に、真の親子間の愛情が育っていない。特に母親から生まれ出たわが子に対する真の愛情とは何か。親にも子どもにもわからないまま育成されてきている。今、こうして生まれ生きてこられたのは誰のおかげなのか、子どもにはわかっていない。未成熟な親にならないために、家庭教育のあり方を見なおすことが大きな課題であり、学校教育も父母、地域と一体となって、真剣に取り組むことが大切である『教育維新』を迎えた日本社会であろう。一次回到続くー

(及川 利男)

INFORMATION

♪ 盆踊り ♪

- 7月24・25日 馬絹・小台町会盆踊り
- 7月31・8月1日 有馬町会盆踊り
- 8月6・7日 東有馬町会盆踊り
- 10月15日(金) 馬絹神社祭礼
- 10月16日(土) 梶ヶ谷小学校フリーマーケット
- 10月17日(日) 宮前区民祭
- 10月24日(日) 西梶ヶ谷小グリーンカーニバル
- 10月30日(土) 宮崎小学校「ふれあいまつり」
大塚町会スポーツフェスティバル
- 11月 6日(土) 宮崎中学校フリーマーケット
- 11月23日(火) 第2回 あったかまつり

宮崎中学校区地域教育会議へのご意見、ご要望をお待ちしています。

〒216-0033 川崎市宮前区宮崎107
宮崎中学校内 地域教育会議事務局

△▼△▼ 編集後記 △▼△▼

広報委員会も3年目。今年度は「テーマ」を決めて、新しいメンバーと共に頑張っていきたいと思います。情報などもお待ちしておりますので「萌 MOE」を引き続きよろしく願いいたします。また、広報紙「萌 MOE」に対する、ご意見、ご感想はこちらにおねがいします。(S)
→FAX 044-855-1481